

Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.16 英語担当 岡本さん

◆なぜ医療通訳者になった？

学生時代のある時期、テレビドラマの影響で医師になりたいと思ったことがありましたが、当時は真剣にいろいろと調べた結果あきらめました。しかしその後も医療のことはずっと気にかかっており、「IAAF 世界陸上競技選手権大阪大会」の医務室で通訳ボランティアとして活動したり、フリーランス通訳・翻訳者として働き始めてからも折に触れて医薬案件に携わっていたりしました。そんな中、縁あって医療通訳に従事することになり、今に至っています。



◆今まで医療通訳に携わって一番嬉しかったことは？

医療通訳というのは直接患者様の健康や生活に関わる内容だということもあるせいか、「ありがとう」「安心しました」などの言葉の重みが違うように感じます。そのため、このような言葉を耳にするといつも以上に嬉しく思い、同時にホッとします。またひとしきりお話を聞かれた後、「では先生の仰るとおりにします」と言っていただけたときも短時間で信頼関係のようなものが築けたのかなと安心しました。

◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

他業界の通訳以上に細かなところに気をつけるようにしています。例えば、通常の通訳では通訳者は黒衣に徹し、主語も3人称を使うことはありません。しかし、患者様は通訳者を介したやり取りに慣れていらっしゃる方が多く、1人称で通訳をすると混乱を招く場合もあります。そのため、様子を伺いつつ状況に応じて、医師の言葉を訳す場合もあえて主語は「I」とせず、Dr. や He/She を使い患者様に伝わりやすいように心掛けています。また、ゆっくりと短めに話すということにも注力しないといけないと思っています。

ちょっと一言 それって何て言うの？

「支払いは現金ですか、カードですか？」

英語「Do you pay in cash or by credit card?」

中国語「用現金支付还是用信用卡支付？」

(ヨ ショウジツ ショーハイ ヨウ シヨウカー ショーハイ?)

ベトナム語「Bạn thanh toán bằng tiền mặt hay thẻ tín dụng?」

(バン タイトアツ バン ティエン マツ ハイ テーティンズツ?)

スペイン語「¿Va a pagar en efectivo o con tarjeta?」

(パ アパ ガー ル イフエクティボ オ コン タルヘーダ?)

ポルトガル語「Vai pagar em dinheiro ou com cartão de crédito?」

(ヴァイ パ ガー イジニエイロ コン カルタオ シクレット?)



今月のトピックス



「コロナ禍の通訳」



今年もコロナに終始した1年になりそうですね。特に第5波がピークの頃は、通訳センターでも保健所からの依頼電話がひっきりなしでした。クラスター発生が関係しているのか依頼言語に極端な偏りがあり、ポルトガル語、ポルトガル語、スペイン語、ポルトガル語…と来ていたかと思うと、今度はタガログ語、タガログ語…、すると急に英語や中国語と言われて面食らったこともありました。

陽性判明時の聞き取り調査では、複数の関係者に同じことを繰返し聞くのですが、答えが微妙に違ったりします。「あれ、みんなで食事をしたのは月曜日？日曜日ではなくて？」と通訳者自身が思わず心の中で突っ込みを入れたくなりました。

コロナ禍では、コミュニケーションが取れる大切さを私たち通訳者もあらためて考えさせられました。そんな時、連日大変な数をこなしておられるでしょうに、保健所の職員の方の中には覚えたポルトガル語で自ら「オブリガード（ありがとう）」と、挨拶だけでもコミュニケーションをとろうとくださる方がおられました。通訳者までほっこりした瞬間でした。

どんな状況でも、少しの気持ちの余裕がお互いの笑顔を生むのかもしれないですね。



ひとつこぼれ話を

言語によっては、男性・女性で語尾が変化します。トピックスの中の「オブリガード（ありがとう）」は、話者が女性の場合です。男性が使うと「あれ？この人はもしかして…？」と誤解を招くことになるのか…。というのは冗談で、患者さまは自分の母国語でお礼を言ってくださる気遣いを感じられるので、きっと本当に誤解されることはないでしょうね。男性の場合は「オブリガード」です😊

